

平成22年度
議会改革検討委員会報告書

平成23年2月
議会改革検討委員会

平成23年2月18日

江南市議会議長
岩田 一 洋 様

議会改革検討委員会
委員長 東 義 喜

平成22年度議会改革検討委員会検討結果の報告について

本委員会は、平成17年11月18日の設置以降、議会の機能強化、運営の改善、その他議会の改革に必要な事案を検討してきました。

平成22年度は、「議長交際費の支出基準」、「傍聴規則の見直し」、「議場演壇の書見台の検討」、「議会の傍聴人を増やすことについて」、「議会基本条例」、「議会で実施してきたことの事業評価」、「委員会の単独開催の検証」、「香典の取り扱いについて」、「ホームページの充実」などについて検討しましたので、その結果を別紙のとおり報告します。

1. 経過

平成 22 年 5 月 14 日に議会改革検討委員に河合正猛委員、牧野圭佑委員、今井敦六委員、福田三千男委員、古池勝英委員、伊神克寿委員、鈴木貢委員、東義喜委員の 8 人が選出され、平成 22 年 6 月 11 日の議会改革検討委員会において、委員長には引き続き東義喜委員、欠員となった副委員長に河合正猛委員を選出した。

以降、7 回にわたり委員会を開催した。

2. 議会改革検討事項

前委員会から引き続き、議会の機能強化、議会運営の改善、その他議会の改革について、各会派から提案された事項を検討事項とされた。

(1) 自立した議会にするための議会改革

政策立案機能の充実、常任委員会の活動強化、会議等運営の見直し、議員研修の充実について検討する。

(2) 議会の透明化・IT 化

会議の公開、議会報の発行、ホームページの充実、電子媒体による会議録の検索システムの研究、市議会政治倫理要綱の制定、議場・傍聴席の改善、議長交際費の透明化、パソコン活用による議会について検討する。

(3) 市民に身近な議会にするための議会改革

請願・陳情・要望事項の公開、地域に出向いた議会活動、市議会モニター制度の導入、傍聴規則の見直し、議長・副議長の業務見直し、議員活動の検証、弔慰規定の見直しについて検討する。

(4) 議会費のあり方

政務調査費の検証、報酬・旅費・費用弁償の検証、IT 化予算の確保について検討する。

(5) 議会事務局体制の充実

事務局職員の資質の向上、常任委員会視察への職員随行の見直しについて検討する。

3. 委員会開催状況と協議内容

回	期 日	協 議 内 容
1	平成 22 年 6 月 11 日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・副委員長の互選について ・前年度からの検討事項について ・議場内への説明資料の持ち込みについて ・議会基本条例について
2	平成 22 年 7 月 27 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・議長交際費の支出基準について ・傍聴規則の見直しについて ・定例会・臨時会の呼称について ・議場演壇の書見台の検討について ・施策評価について ・議会の傍聴人を増やすことについて
3	平成 22 年 8 月 25 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・議場演壇の書見台について ・演壇への持ち込みについて ・議会基本条例について ・議会で実施してきたことの事業評価について ・委員会の単独開催の検証について
4	平成 22 年 10 月 4 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・演壇への持ち込みについて ・議会で実施してきたことの事業評価について ・香典の取り扱いについて ・委員会の単独開催の検証について ・議会基本条例について
5	平成 22 年 11 月 2 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの充実について ・議会基本条例について ・香典の取り扱いについて ・委員会の単独開催の検証について ・委員会の再編成について
6	平成 23 年 1 月 11 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの充実について ・議会基本条例について ・香典の取り扱いについて ・委員会の単独開催の検証について
7	平成 23 年 2 月 15 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会の単独開催について

4. 協議の結果

(1) 議長交際費の支出基準について

江南市議会の議長交際費の支出基準等について検討がされ、支出区分、ホームページへの掲載方法などについて協議された。

支出区分は①弔事、②総会・行事等、③会費、④その他に区分し、また、市ホームページには議長交際費を月ごとにまとめたものを公表することとした検討結果を各派代表者会議（H22.8.27）へ報告し、各派代表者会議で再度検討された結果、平成23年4月分から市ホームページへの掲載を実施することとなった。

(2) 傍聴規則の見直し

昨年度からの継続審議として、昭和30年の制定後、大きな見直しがされていない「江南市議会傍聴規則」の改正について検討がされた。

全国市議会議長会の標準市議会傍聴規則を始め、近隣市議会の傍聴規則を参考に全部改正する方向で協議した。この傍聴規則は平成14年に一部改正しているが、他と比べても古い表現がされており、また、実情に合致していないものもあった。今回の改正で字句の訂正や表現方法などを全国市議会議長会が作成している標準市議会傍聴規則に則したものにした。

特に、傍聴席へ入ることができない事項について協議がされ、年齢制限については「児童及び乳幼児は傍聴席に入ることができない。ただし、議長の許可を得た場合はこの限りでない。」と見直され、標準傍聴規則に合わせることにした。また、傍聴席では「携帯電話、パソコン等の電子機器を使用してはならないこと」などの項目を新しく追加した検討結果を各派代表者会議（H22.8.27）へ報告し決定されたため9月定例会より実施した。

(3) 議会の傍聴人を増やすことについて

市議会では開かれた議会、親しまれる議会の実現に向け議会改革を積極的に推進しているが、多くの市民の方に傍聴してもらうことでさらに議会に関心を示し理解してもらえるようになるのではないかとの意見が出された。

現在、一般質問については、市ホームページへ誰がどのような質問をするのかを掲載しているが、市役所の来庁者へもいち早く知らせることで、興味のある質問には、関心を持ってもらえたり傍聴してもらえたりすることから、庁舎内ではどのような方法で周知することができるか協議した。

その結果、一日ごとの質問者の人数を事前に決定し、誰が、いつ、どのような一般質問をするのか印刷したものを各定例会の開会日の散会後に、市役所ロビー案内付近へ掲示することで、来庁者が質問内容を知ることが

できる。また、議会への関心を高めてもらうとともに、傍聴しやすい環境を整えることができるのではないかとする検討結果を各派代表者会議（H22. 8. 27）へ報告し決定されたため9月定例会より実施した。

（4）演壇への持ち込みについて

議場で一般質問や議案質疑の際、紙類以外の資料を持ち込んで説明する場合の説明資料の持ち込み制限について検討がされた。

協議の結果、「紙類の印刷物を議場に持ち込み一般質問等で演壇において説明資料として使用する場合は、議長の許可を得なければならない。なお、紙類以外のものを議場に持ち込み又は説明資料として使用する場合は、議会運営委員会で事前審査を受けた後、議長の許可を得なければならないこととする。」ことを申し合わせ事項とし、議会運営委員会で審査することとした検討結果を各派代表者会議（H22. 11. 26）へ報告し決定されたため12月定例会より実施した。

（5）議会基本条例について

議会基本条例の作成については、「江南市議会議員政治倫理要綱」などとの整合性を図りつつ、議員の責務や議会に関する基本的事項について定めることの必要性について検討された。

既にいくつかの自治体が議会基本条例を制定しており、地方分権、地域主権が進む中で、地方自治体の権限が拡大したことに伴い、議会の役割も大きくなってきている。そのため、これに対応して議会改革を積極的に進め、継続し発展させることなどを目的として作成されている。

本検討委員会としても、議会基本条例の作成は必要であるとされ、基本条例に「市民との対話集会を定例会ごとに実施する」ことを盛り込む案を次期検討委員会へ申し送ることとした。（協議継続中）

（6）議会で実施してきたことの事業評価について

現在の録画中継は、一般質問のみを市ホームページで閲覧することができるが、定例会全体を閲覧できるようにしてはどうか、また、議会の内容を知らせる議会だよりを発行してはどうかの検討がされた。

インターネット録画中継については、開始して1年が経過したところであり、各派の検討課題になっているので議会改革検討委員会ではなく各派代表者会議へ委ねることとした。

議会だよりについては、現在、広報こうなんに「議会のようす」を定例会ごとに掲載しているので、その内容を充実させてはどうかなど協議したが、議会独自の議会だよりを発行することを次期検討委員会へ申し送ることとした。（協議継続中）

(7) 常任委員会の単独開催について

現在、常任委員会は3委員会あり、定例会期間中に開催する委員会では3委員会が同時に開催している。そのため他の委員会を傍聴することができないので、審査内容を詳細に把握することが非常に困難である。他の委員会を傍聴することで、議会の役割をより発揮し議会活動に責任を持つことにつながるのとことから委員会単独開催の実施について検討された。

新年度の議事日程案を例に検討したり、過去の日程を参考にしたりしていろいろな案を協議した。また、単独開催の日程案を各会派でも協議された。今年度は一定の方向性（別添資料参照）を示し、次年度でも継続して検討していくこととした。（協議継続中）

(8) 香典の取り扱い

香典について他市の状況や公職選挙法を参考に、江南市議会独自のしくみをつくることができないか検討された。

公職選挙法では選挙の有無に関わらず、政治家が選挙区内の人に寄附を行うことは、名義のいかんを問わず特定の場合を除いて一切禁止されている。ただし、結婚祝、香典については政治家本人が結婚披露宴、葬式等に自ら出席してその場で行う場合は罰則が適用されない場合があると規定されている。

協議の結果、香典等を禁止することは、公職選挙法でも違法ではない場合もあり、議員個人がそれぞれ考えて行動することでもあるとのことから統一することはできないとされ、議会改革検討委員会で検討することは困難と判断した。

(9) 議会ホームページの充実について

市ホームページから江南市議会のホームページへ入るためのアイコンがトップページの下の方にあり、スクロールしないと探すことができないので閲覧しづらいことから、アイコンを画面の上の方へ移動させるか、新しく追加して「江南市議会」と表示することができないかなど検討された。

担当課と協議した結果、画面の中央付近のMENU欄の中に「江南市議会」と追加することで、江南市議会のホームページや会議録の検索、録画中継を閲覧しやすくした。

議会改革検討委員会委員名簿

区 分	氏 名
委 員 長	東 義 喜
副 委 員 長	河 合 正 猛
	福 田 三 千 男
	鈴 木 貢
	古 池 勝 英
	牧 野 圭 佑
	伊 神 克 寿
	今 井 敦 六
計	8人

任期 平成19年5月17日から平成23年4月30日まで

オブザーバー

区 分	氏 名
議 長	岩 田 一 洋
副 議 長	野 下 達 哉

平成22年度広報編集委員会委員

会 派 名	委 員 名	備 考
江政クラブ	中 西 保 夫	
政新クラブ	古 池 勝 英	
公明党市議団	古 田 みちよ	
日本共産党江南市議員団	東 義 喜	委員長
無会派	山 登志浩	副委員長

委員は、各会派・無会派から代表者1名を選出

6月定例会

(6月)

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

開会：6月9日(木)

- ・一般質問 14・16・17日
- ・議案質疑 20日
- ・委員会 21・22・23日
(1委員会…1日)
- ・閉会 28日(火)
- *全国議長会総会 15日

9月定例会

(9月)

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

開会：9月2日(金)

- ・一般質問 7・8・9日
- ・議案質疑 12日
- ・委員会 13・14・15・16日
(1委員会…2日)
- ・閉会 21日(水)

12月定例会

(12月)

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

開会：12月2日(金)

- ・一般質問 7・8・9日
- ・議案質疑 12日
- ・委員会 13・14・15日
(1委員会…1日)
- ・閉会 20日(火)

3月定例会(24年3月)

(2月)

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29			

開会：2月24日(金)

- ・一般質問 2月29日、3月1、2日
- ・議案質疑 5日
- ・委員会 6・7・9・12日
(1委員会…2日)
- ・閉会 3月14日(水)
- *中学校卒業式 8日(予定)

(3月)

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31